



**氏名** 鈴木耕平(すずきこうへい)

**所属** 株式会社たがやす 代表取締役

科学コミュニケーションを用いた社会実装支援

**一般社団法人 流域ぷらっとフォーム 共同 代表理事**

富山県での研究PJ(SOLVE for SDGs: 東京大学等との共同研究)への参画  
「科学者とあらゆる関係者が一同に会し、主体的に解決の糸口を共創する」  
ことの重要性を実感

流域治水への  
関わりの原点

**東京大学農学部 農学共同研究員**

都市近郊の農業用水利システムなど農業水利に関わる研究と実践に従事



始まりは富山県での研究プロジェクト  
科学者の呼びかけから始まった地域課題解決の取り組み

## あらゆる関係者とともに流域の暮らしを豊かにする地域づくり

### 科学者とともに行う市民参画型の取り組み

- 科学者が持っている知見を生かし
- あらゆる関係者と科学者が対話を通じて
- 主体的に実践できる



### 福島県 阿武隈川など県内流域

県内の河川で水環境保全に取り組む団体、行政、福島大学で交流会を開催。遊水池の課題も取り扱う。



### 宮崎県 五ヶ瀬川流域

上流～下流に住む中学生が、流域に触れ、学んでもらうため、国交省・宮崎大学が出前授業や流域ツアーを企画。

### 愛知県 木津用水受益地

木津用水周辺市町自治体・大学が集まり、河川管理者間で、用水・治水管理の現状認識を共有し、持続可能な水資源管理のあり方を検討した。



## ● 流域治水を「巻き込む」「広げる」「深める」活動(流域ぷらっとフォーム)

### ワークショップ

安心して暮らせるウェルビーイングな地域に向けて考え、実装していくための話し合いの実施

MOVIE



### シンポジウム

流域治水を必要とする多くの人に知ってもらうきっかけづくりを地域の方々とともに開催

MOVIE



### 出前授業・講演

流域治水を知り、小中高校の探究学習で学ぶための導入や、地域住民が流域治水を学びきっかけづくりとして実施



### 流域ツアー

体験から学び気づく機会として、学生/行政企画により、学生～大人までを対象に各地域で幅広く開催



## ● 「市民や自治体はその気になるために何が大切か」

- 【実務者間】利水と治水の調整等、セクター横断の対話と共通目標の醸成
- 【地域社会】科学者とあらゆる関係者がともに考え、実装する「場づくり」

⇒ この両輪からの社会実装について、現場の実践者の立場から議論を深めたい

# 一例：現場における利水と治水の調整の実践の事例（木津用水における認識変容）

河川課題に置ける重要な視点

実践事例：愛知県木津用水受益地（2021年～）

対象：利水・治水の実務者

東京大学大学院農学生命科学研究科 乃田啓吾 准教授 とともに推進

治水だけでなく、現場の実態に即した「調整」が不可欠

## 対話の可視化によるブレイクスルー

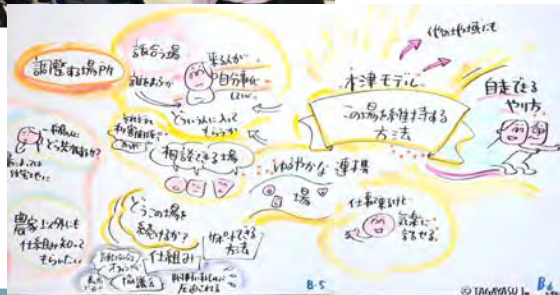
各々の立場での課題  
（縦割り）

グラフィックファシリテーション  
科学者の視点 を取り入れた対話

共有された目標への  
認識変容



議論・対話を  
リアルタイムに可  
視化



セクターをまたいだ共創的な  
水資源管理（合意形成）の体  
制構築を推進